

無垢の木の収納

〔ハコモノ〕

仕上げてる収納

〔ハコモノ〕

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-81-3331

【受付時間】平日 8:30~17:00 【休日】土日・祝日・GW・年末年始・夏季休暇

このたびはウッドワンの商品を御利用いただき、誠にありがとうございます。
取付設置前にこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく取付設置されるようお願い致します。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意



警告

使用に際して以下の注意が守られない場合、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。
確実に守ってください。



注意

取付設置に際して以下の注意が守られない場合、取付設置に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・ヒンジを分解したりしない。

扉取り付け用のヒンジを分解したり、無理に曲げたりすると、扉が脱落してケガの原因となりますので、絶対にしないでください。

・製品に乗ったりぶら下がったりしない。

製品が外れたり破損したりして、ケガの原因となりますので、絶対にしないでください。

・ガラスに強い衝撃を与えない。

扉（ガラスタイプ）に強い衝撃を与えるとガラスが割れてケガの原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・確実にキャビネットと壁面を固定する。

キャビネットがあらかじめ間柱・補強桟等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。

・取付設置で使用するねじを固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、折れ、頭（スリワリ⊕）つぶれのないようにする。

固定ねじ用ねじがきかないと、キャビネットなどが落下してケガの原因となります。

・扉のかたむき・ガタつきや丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、けがをすることがあります。

・確実にキャビネット同士を連結する。

キャビネット同士が連結金具で確実に連結されていないと、キャビネットが転倒・脱落してケガの原因となりますので、確実にキャビネット同士を連結してください。

・取付時はヘルメット、安全靴などを着用する。

着用しないと、キャビネットの角で頭を打ったり、落下物による打撲などの事故の原因となります。

・耐荷重を必ず守る。

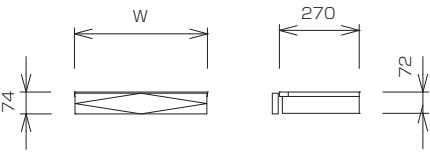
耐荷重を超えてものを載せると製品が破損したり脱落してケガの原因となります。
※詳しくは17ページの【収納量の目安】をご参照ください。

もくじ

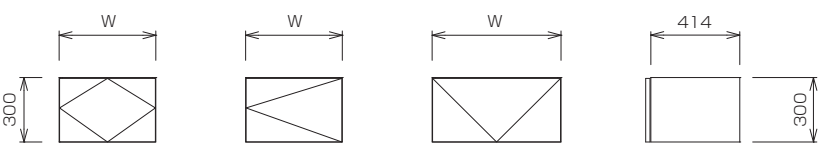
安全上のご注意	1	開き扉の調整方法	13
製品寸法	2	引き出しの取り外しと取り付け・調整方法	14
部材の確認	3	フラップアップ扉・フラップダウン扉について	15
取付設置場所の確認	4	フラップアップ扉の取り付け取り外し・調整方法	16
キャビネットの取り付け	5	フラップダウン扉の取り付け取り外し・調整方法	17
ベースキャビネットの取り付け	6	プッシュラッチについて	18
フロートキャビネットの取り付け	7	使用上のご注意	20
エンドパネルの取り付け/天井幕板・フィラーについて	8	お手入れ 木製（無垢）扉・木製（無垢）カウンター	21
カウンターの取り付け	9	お手入れ キャビネット・シート扉 取手	22
カウンター補強金具の取り付け	10	収納量の目安（重量規定）	23
薄引き出し箱について	11	配線について（リビング TV 台プラン）	24
開き扉の取り外しと取り付け	12	アフターサービス・品質保証	28

製品寸法

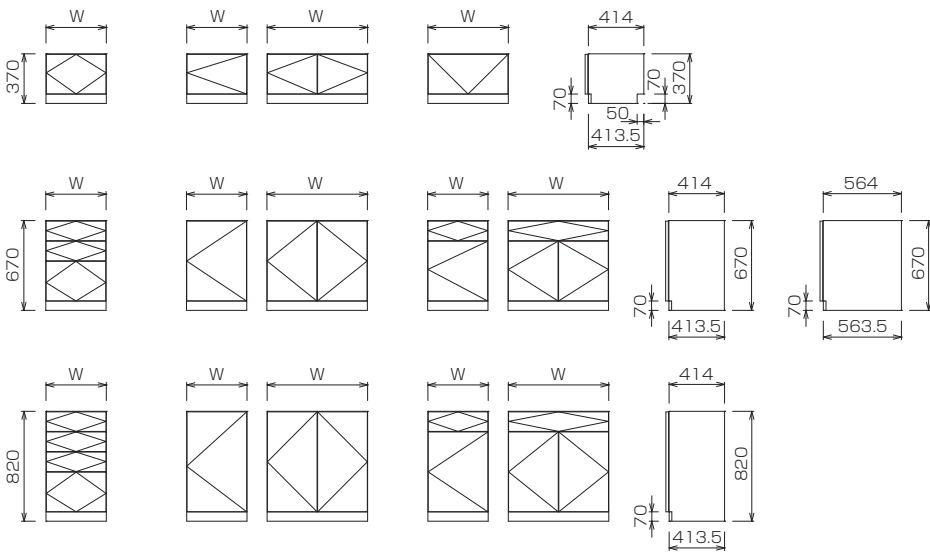
■薄引き出し



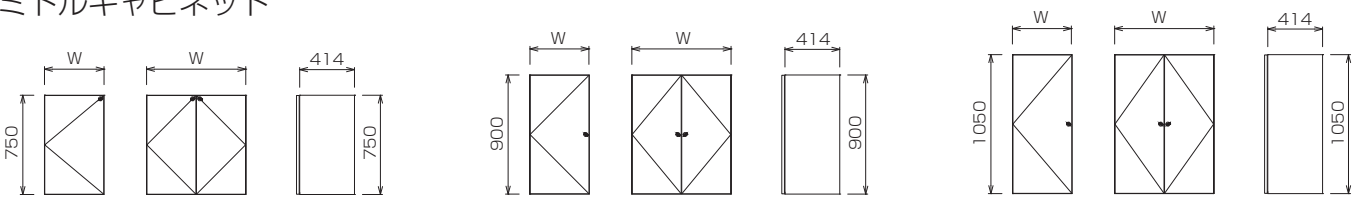
■フロートキャビネット



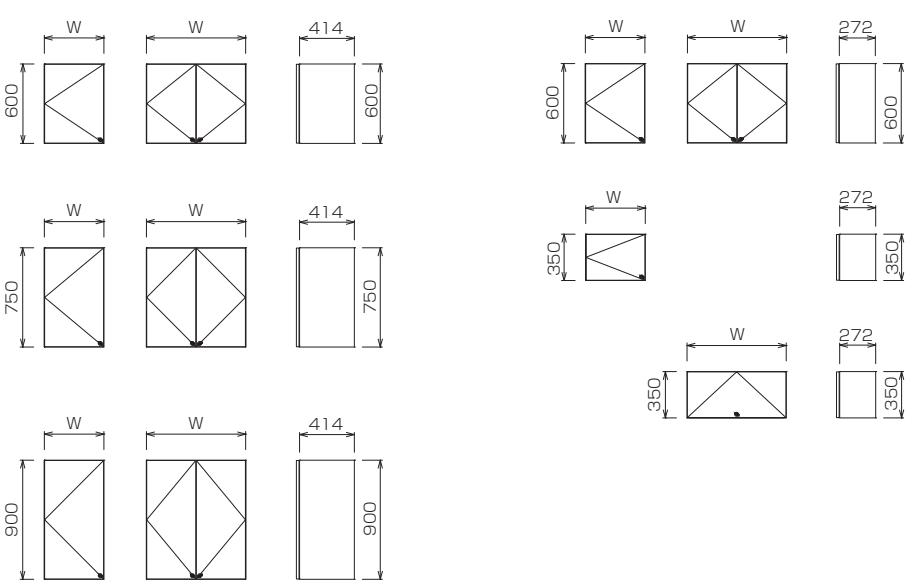
■ベースキャビネット



■ミドルキャビネット



■アップパーキャビネット

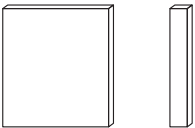
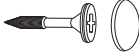


部材の確認

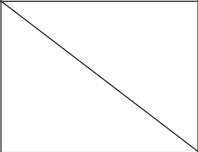
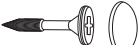
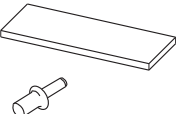
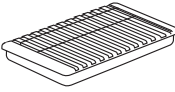
カウンター

部品名	カウンター
形状	

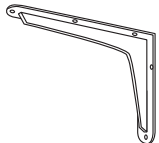
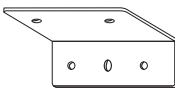
パネル・フィラー

部品名	パネル・フィラー	連結ビス(4×28)
形状		

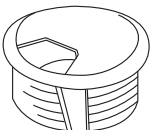
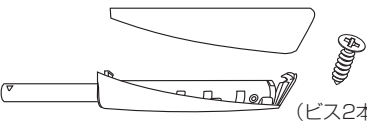
キャビネット

部品名	本体キャビネット	皿ビス(4.5×65) (化粧キャップ・ワッシャー付)	連結ビス(4×28)	棚板・棚ダボ	配線孔キャップ
形状					

固定金具

部品名	ブラケット	なべ頭ビス(5×45)	なべ頭ビス(5×16)	L金具	トラスビス(4×65)	トラスビス(3.5×16)
形状		 (4本)	 (4本)		 (3本)	 (2本)

オプション

部品名	配線キャップ	プッシュラッチ
形状		 (ビス2本)

取付設置場所の確認

【壁面の取り付け下地材の確認】

警告



必ずおこなう

- 壁面の取り付け下地材の位置を確認する。
- 壁面の下地材が強固に固定されていることを確認する。
- 下地材は虫食いや腐れのない木材をご使用ください。
(大工工事)

下地材の取り付けが不完全な場合、キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。

【建築壁について】

- 建築壁には、かならず下地材(桟木、合板)を取り付けてください。(大工工事)
- 下地材が桟木の場合は堅木で虫食いや腐れのない木材、厚み30mm以上を使用してください。
合板の場合はJAS規格品 広葉樹系(ラワン合板)以上の強度を有するもの、厚み12mm以上を使用してください。
- 建築壁には代表的なものとして以下の種類があります。

木質壁

軽量鉄骨壁

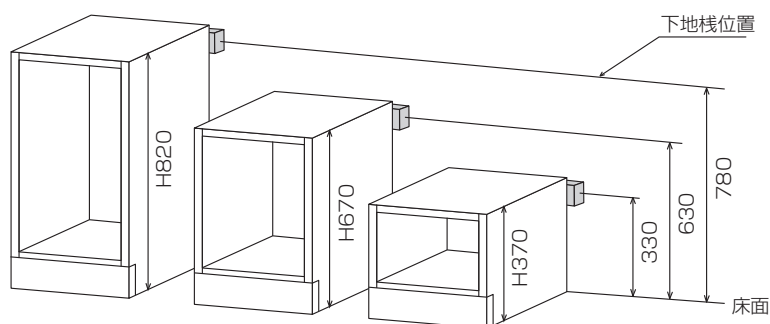
ALC壁

RC壁

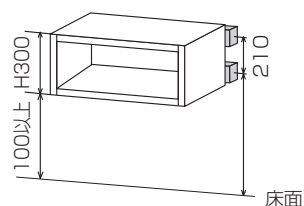
- 取付設置図面通りに、下地材(桟木・合板)などの工事が完了していることを確認する。

※修正が必要なものは、修正工事依頼をすること。

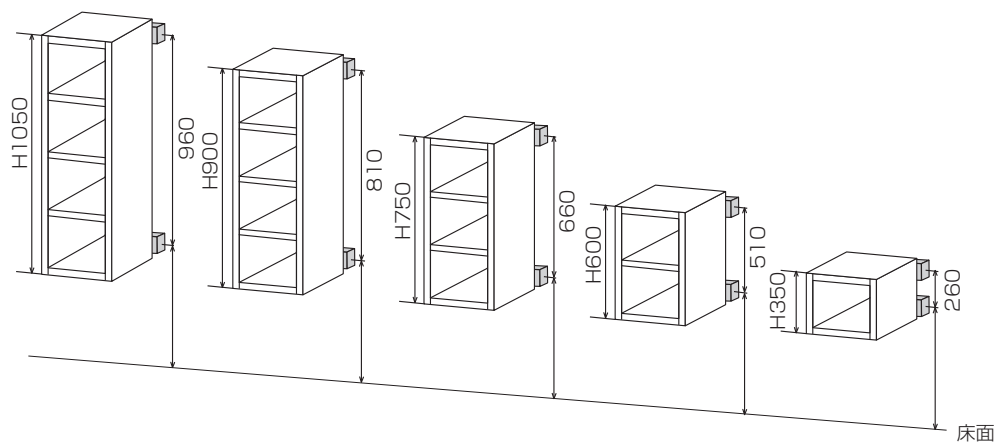
ベースキャビネットの下地材位置



●フロートキャビネット

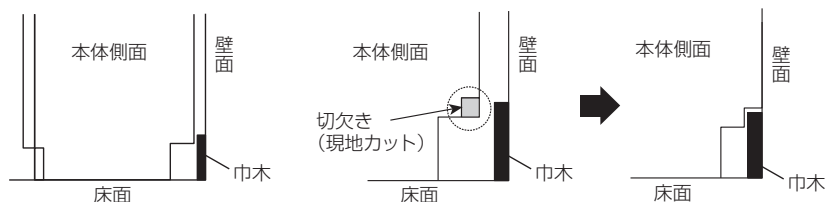
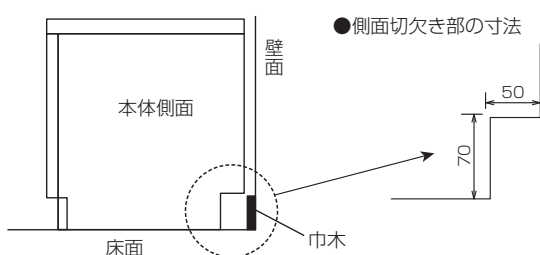


アッパー・ミドルキャビネットの下地材位置



巾木対応について

- H370のベースキャビネットは巾木対応用として側板後方を切り欠いています。



※巾木の高さが70ミリ以上の場合、側板が干渉する部分を切欠いてください。
※サイドパネルを取り付ける場合は、配線ができるように切欠いてください。

キャビネットの取り付け

警告

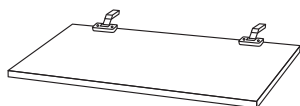


必ずおこなう

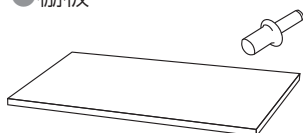
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

部材を取り外す（取り外し方は11～16ページを参照）

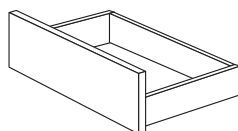
●開き扉



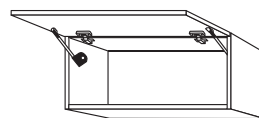
●棚板



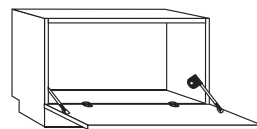
●引き出し



●フラップアップ扉



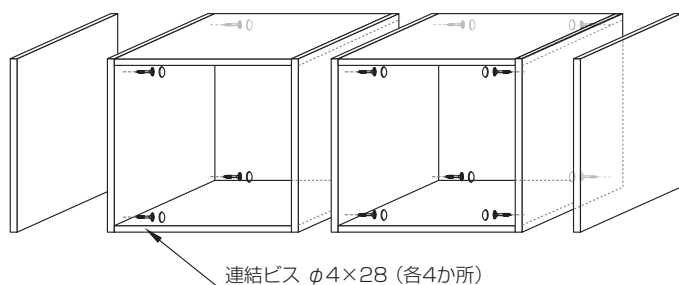
●フラップダウン扉



アッパー・ミドルキャビネットの取り付け

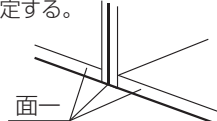
- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの上、後、下を合わせて連結ビスで固定する。※パネルの表示シールに従い取り付ける。

●H350の場合



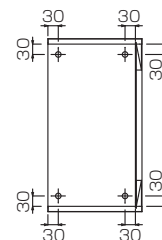
キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。

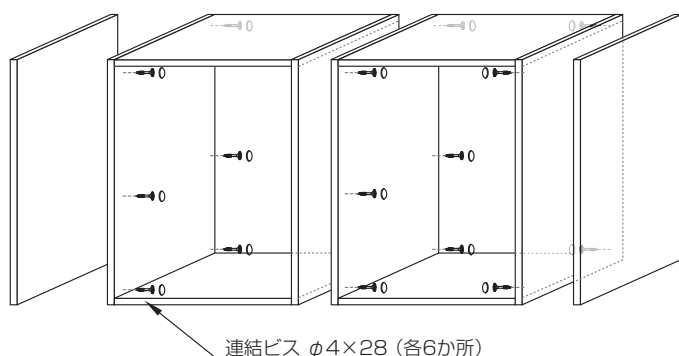


連結ビス位置

〈側面〉

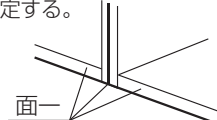


●H600～H1050の場合



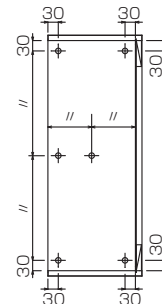
キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。



連結ビス位置

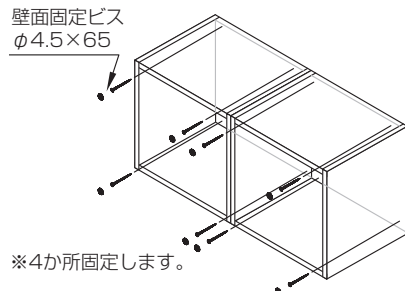
〈側面〉



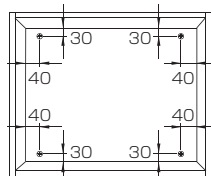
- ③キャビネットを水平・垂直に壁面固定ビスにて固定する。

●片開きの場合

壁面固定ビス
φ4.5×65

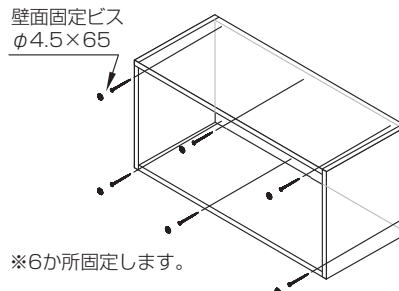


〈正面〉

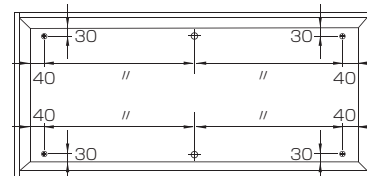


●両開きの場合

壁面固定ビス
φ4.5×65



〈正面〉



ベースキャビネットの取り付け

警告



必ずおこなう

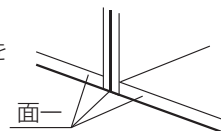
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

ベースキャビネットの取り付け

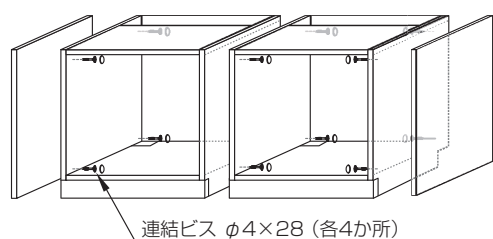
- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの前面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの後、下を合わせて連結ビスで固定する。
※パネルの表示シールに従い取り付ける。

キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。



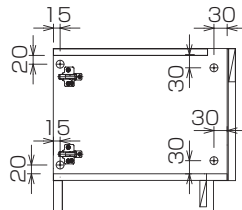
●H350の場合



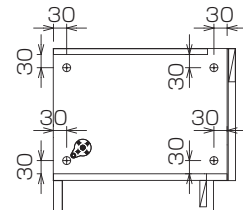
連結ビス $\phi 4 \times 28$ (各4か所)

連結ビス位置〈側面〉 4か所

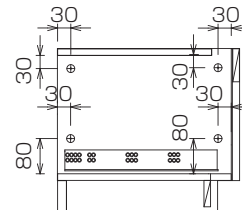
●開きキャビネット



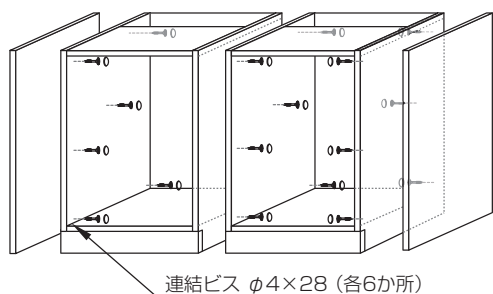
●フラップダウンキャビネット



●1段引き出しキャビネット



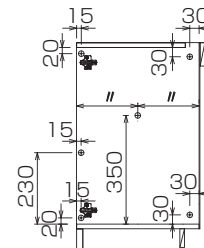
●H670の場合



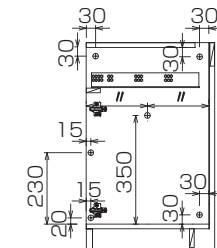
連結ビス $\phi 4 \times 28$ (各6か所)

連結ビス位置〈側面〉 6か所

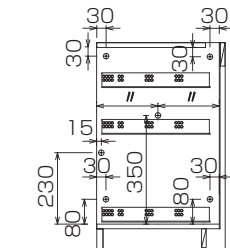
●開きキャビネット



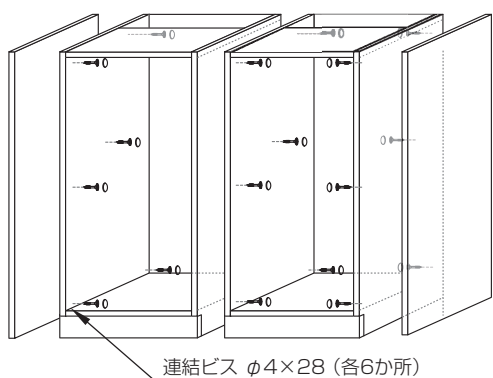
●1段引き出し+開きキャビネット



●3段引き出しキャビネット



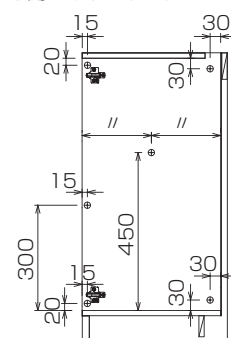
●H820の場合



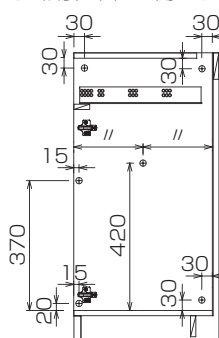
連結ビス $\phi 4 \times 28$ (各6か所)

連結ビス位置〈側面〉 6か所

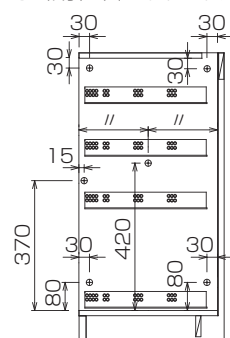
●開きキャビネット



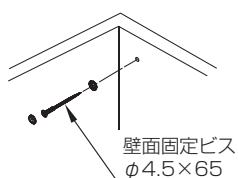
●1段引き出し+開きキャビネット



●4段引き出しキャビネット

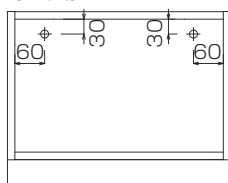


- ③キャビネットを壁面に壁面固定ビスにて固定する。



※2か所固定します。

〈正面〉



フロートキャビネットの取り付け

警告



必ずおこなう

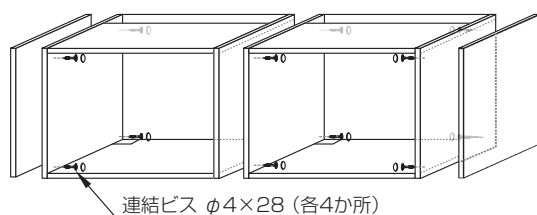
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

フロートキャビネットの取り付け

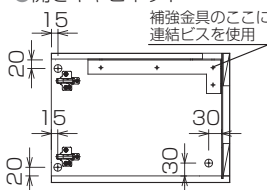
- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの前面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの後、下を合わせて連結ビスで固定する。

※パネルの表示シールに従い取り付ける。

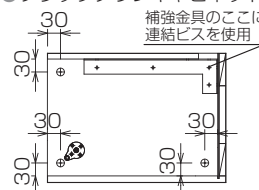
連結ビス位置〈側面〉



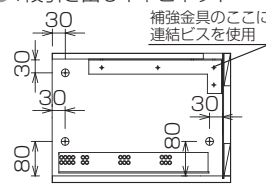
●開きキャビネット



●フラップダウンキャビネット

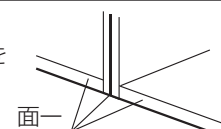


●1段引き出しキャビネット



キャビネットの連結

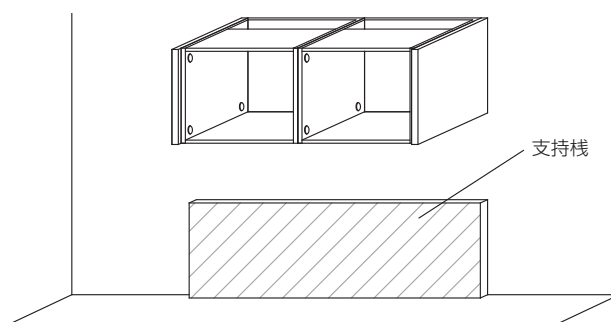
隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。



- ③キャビネットを壁面に壁面固定ビスにて固定する。

- 支持枠を現地でご用意いただくと、壁面固定がしやすいです。

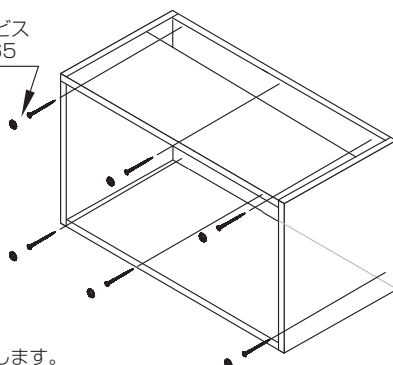
(巾木が設置済みの場所では支持枠が使いづらいかもしれません)



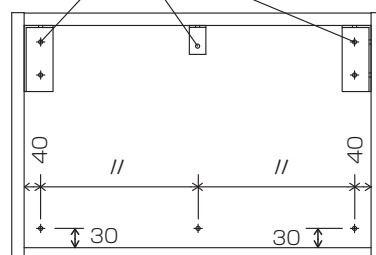
〈正面〉

補強金具のここに壁面固定ビスを使用

壁面固定ビス
φ4.5×65



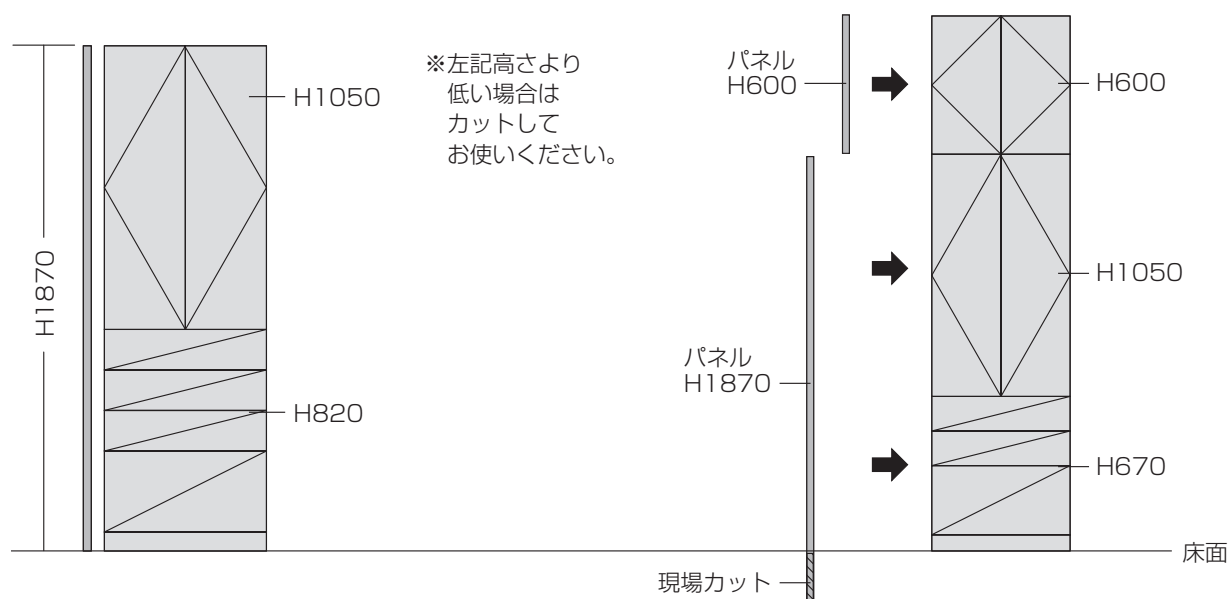
※6か所固定します。



エンドパネルの取り付け / 天井幕板・フィラーについて

エンドパネルについて

- エンドパネルはカットすることでいろいろな高さに対応します。



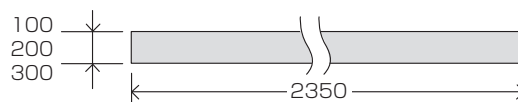
天井幕板・フィラーについて

- 納まり部材として、天井幕板とフィラーを兼用部材としております。

納まり部材

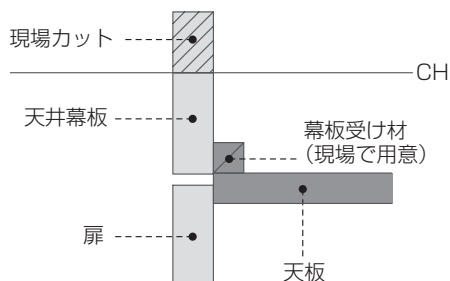
天井幕板 兼 フィラー

サイズ: 2350×(100 | 200 | 300)×20mm



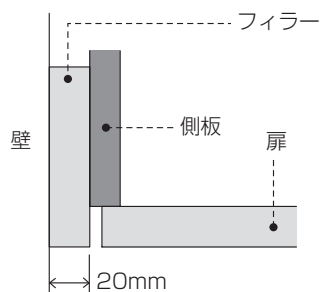
天井との納まり

- ・天板幕板をカットして使う

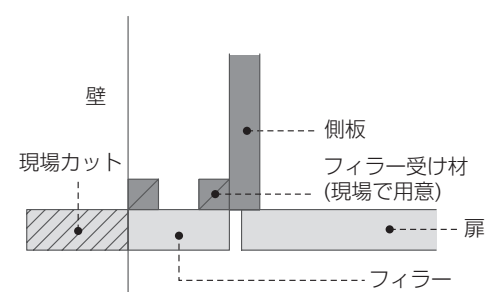


天井との納まり

- ・フィラーを差し込む



- ・フィラーをカットして使う



カウンターの取り付け

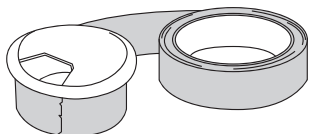
配線キャップの取り付け ※配線キャップは【別途手配】

カウンターに配線を通す場合に配線キャップを使用します。

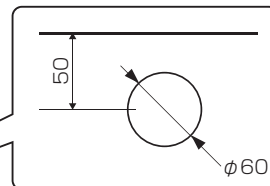
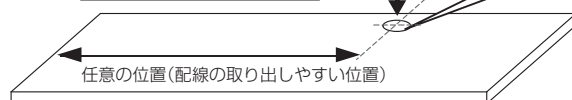
・配線キャップを取り付ける位置に下穴をあけてからφ60の穴をあける。

※接着剤やねじ固定はしません。

※配線キャップが外れやすい場合は、テープを巻いて調整してください。



配線キャップ



⚠ 注意



禁止

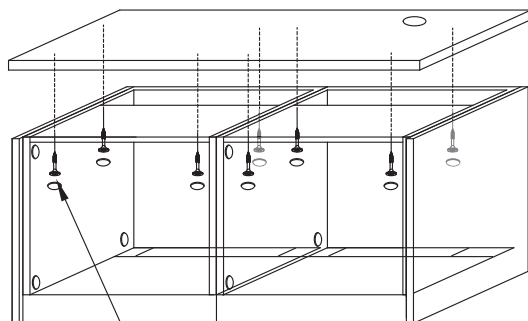
キャビネット同士の境目に
カウンターの配線キャップを
設置することはできません。

配線を通すことができないため。

カウンターの取り付け

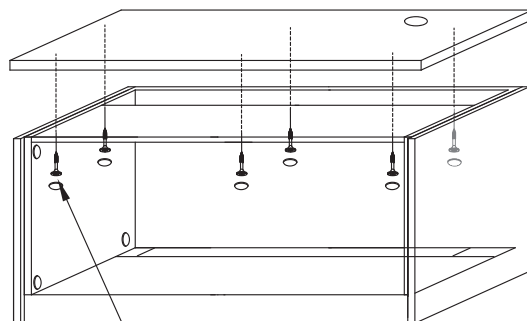
キャビネットに下穴をあけてからカウンターと連結ねじで固定する。

- キャビネット間口W450以下の場合は
4か所固定。



連結ビス φ4×28(各4か所)

- キャビネット間口W600以上の場合は
6か所固定。



連結ビス φ4×28(各6か所)

カウンター補強金具の取り付け

警告

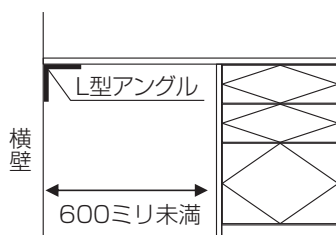


必ずおこなう

- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

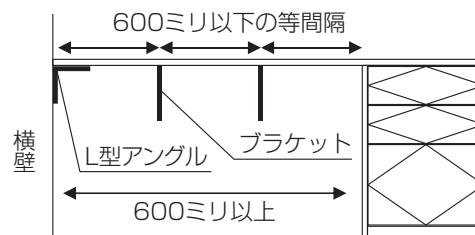
ブラケット(ツヨイノ)とL型アンクル(ヨコウケ)の取り付け位置の確認

●片壁でオープンスペースが600ミリ未満の場合



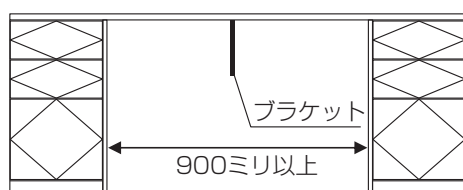
- ・横壁にL型アンクルを2本使用してカウンター固定。

●片壁でオープンスペースが600ミリ以上の場合



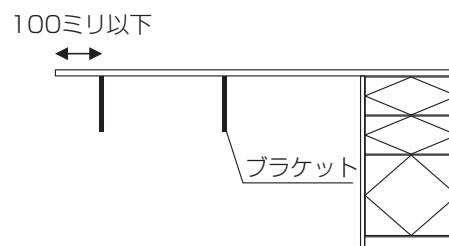
- ・横壁にL型アンクルを2本使用してカウンター固定。
- ・間口方向600以下の等間隔にてブラケットを必要本数を固定。

●両側がキャビネットの場合



- ・900ミリ以上からブラケットが必要です。

●オープンスペースの場合



- ・オープン側をブラケットで支える場合は100ミリ以下に必要です。

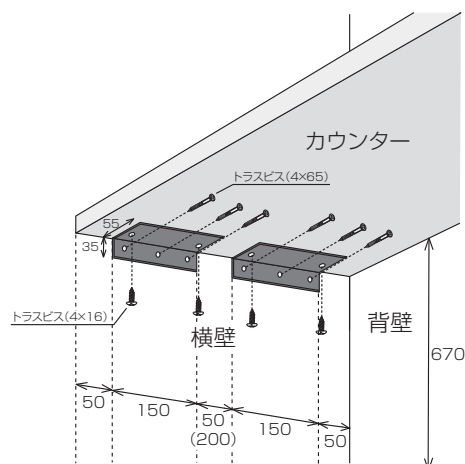
ブラケット(ツヨイノ)とL型アンクル(ヨコウケ)の取り付け

①ブラケットとL型アンクルの向きと取り付け位置、下地の確認をする。

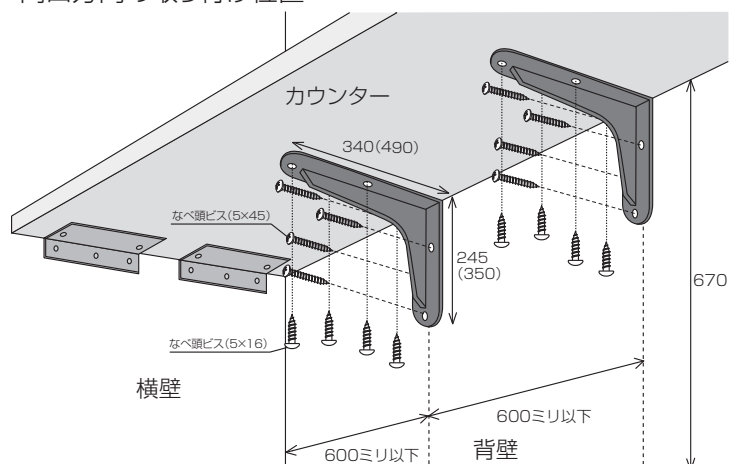
水平・垂直を確認して、高さ670ミリの位置にビス固定する。

②カウンターを設置して位置確認を行い、カウンターにビス固定する。

●横壁側のL型アンクル取り付け位置



●背壁側のカウンターブラケット取り付け位置と間口方向の取り付け位置

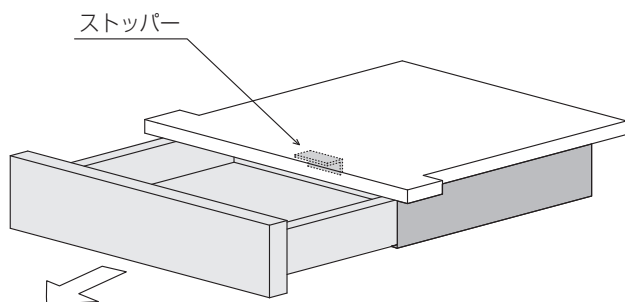


※ ()内はカウンター奥行600ミリの時の寸法

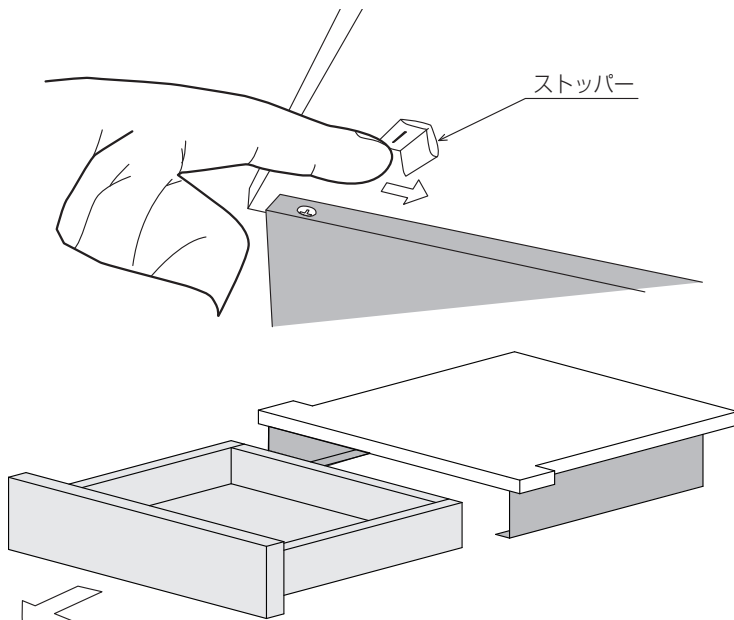
薄引き出し箱について

引き出し箱の外し方

①引き出し箱をある程度引き出します。



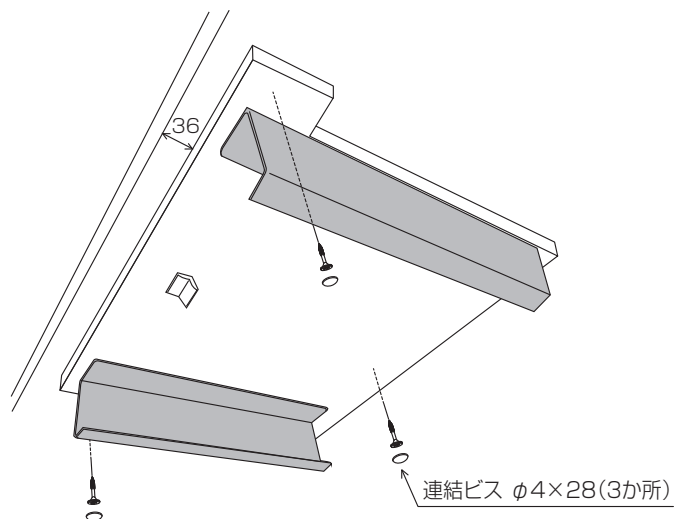
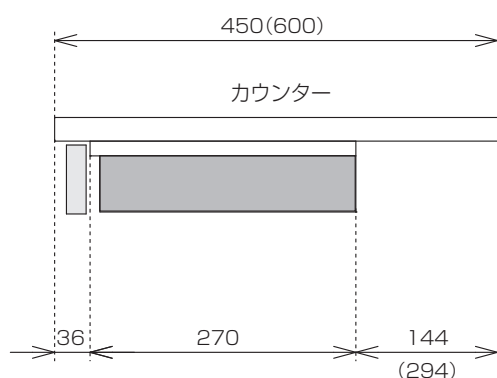
②ストッパーを指で押しながら（平にして）、引き出しを抜いてください。



薄引き出し箱の固定方法

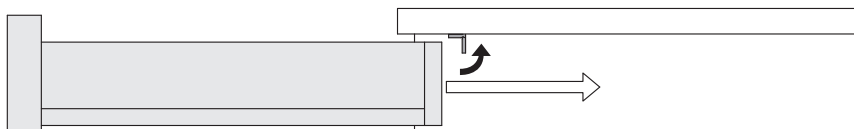
①引き出し箱を外します。

②連結ビスでカウンター下から固定します。



引き出し箱の入れ方

①引き出し箱で本体のストッパーを押して、入れ込んでください。



開き扉の取り外しと取り付け

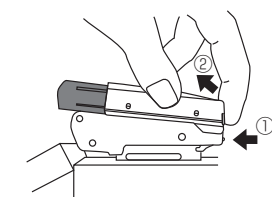
⚠ 警告



取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。
使用中に落下してけがをするおそれがあります。

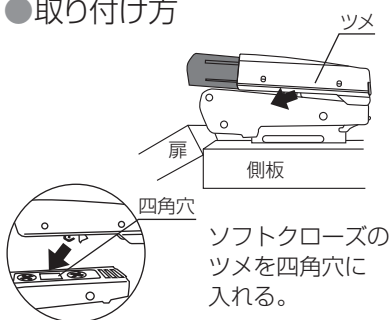
ソフトクローズの取り付けと取り外し

●取り外し方

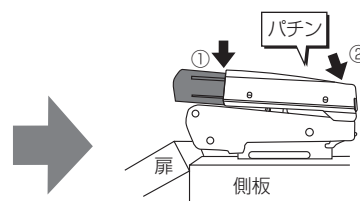


ななめ手前方向に引き上げます。

●取り付け方



ソフトクローズのツメを四角穴に入れる。



前方①を固定しておき、後方②をおさえパチンと音になるまでしっかりとめる。

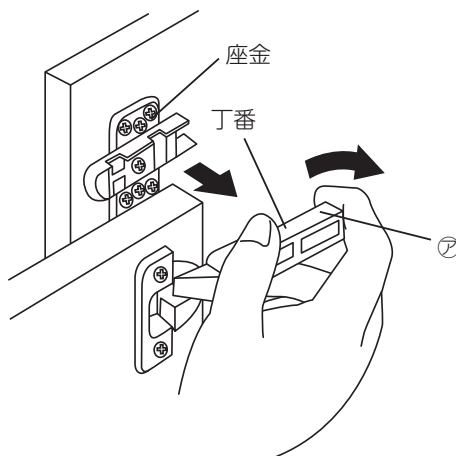
⚠ 注意

無理な脱着は、部品破損原因になります。

開き扉の取り外しと取り付け

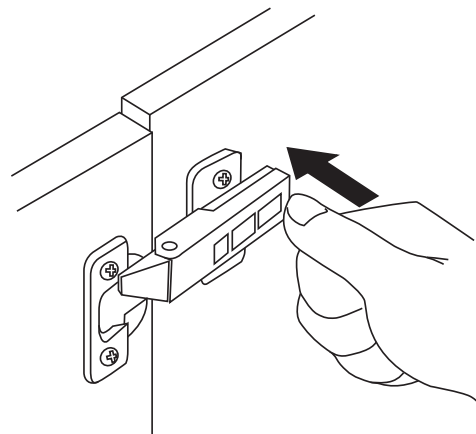
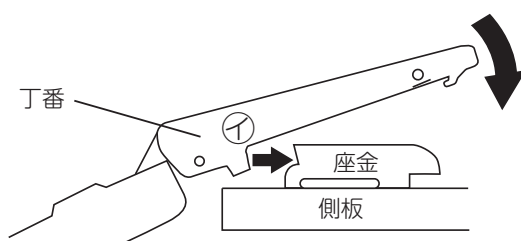
●取り外し方

扉をしっかり持ち、丁番の後方のレバー⑦をつまんで外す。



●取り付け方

- ①①を座金に差し込む。
- ②丁番を座金に合わせて、後ろ側を押し付ける。
（「カチッ」と音がします。）



開き扉の調整方法

⚠ 注意



調整はハンドドライバーを使用してください。
電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

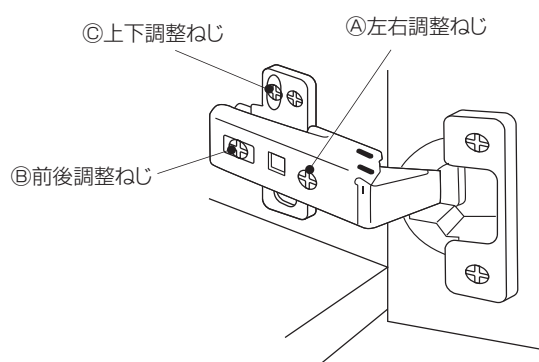
開き扉(丁番)の調整

扉が傾いたり、がたついているときは、丁番で調整してください。

※イラストは右扉の場合です。左扉の場合は丁番が上下逆さになります。

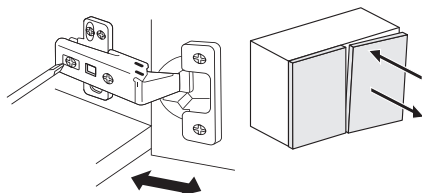
※ソフトクローズ金具が付いている場合は、あらかじめ取り外しておく必要があります。

【Aタイプ】



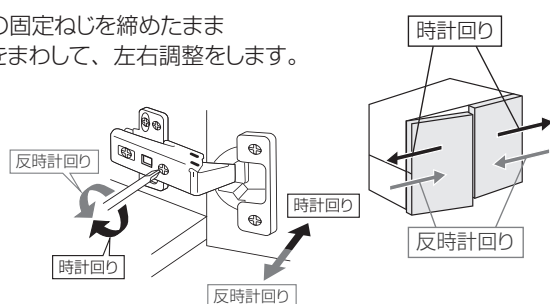
扉の前後調整

扉を取り付けた後㊸をゆるめて前後調整、締めなおします。



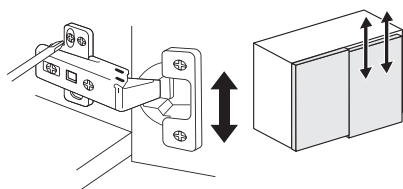
扉の左右調整

㊸の固定ねじを締めたまま
㊹をまわして、左右調整をします。

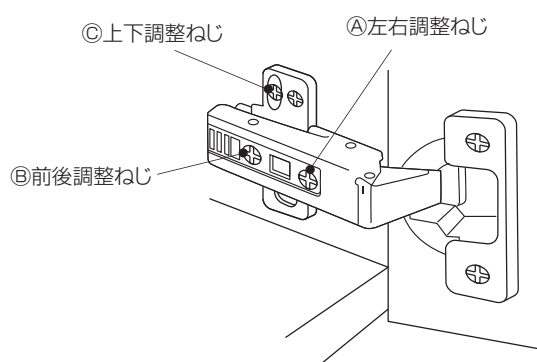


扉の上下調整

㊸をゆるめて扉ごと上下調整をしたあと、締めなおします。

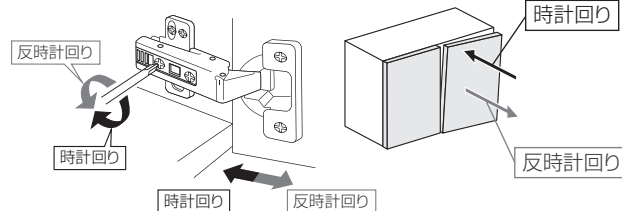


【Bタイプ】



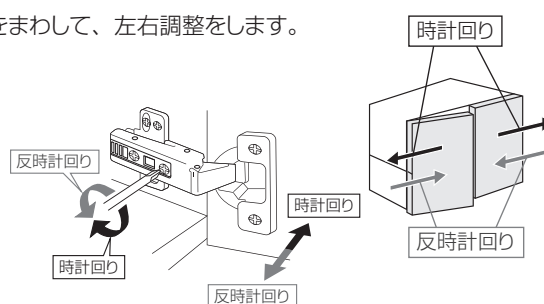
扉の前後調整

㊸をまわして、前後を調整をします。



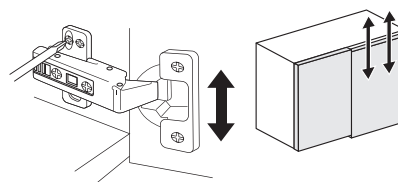
扉の左右調整

㊹をまわして、左右調整をします。



扉の上下調整

㊸をゆるめて扉ごと上下調整をしたあと、締めなおします。



引き出しの取り外しと取り付け・調整方法

⚠ 警告



必ずおこなう

取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。
使用中に落下してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意



必ずおこなう

調整はハンドドライバーを使用してください。
電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

⚠ 安全上のご注意（必ずお守りください）

必ず両手で引き出しを持って取り外すこと。

落下してけがをするおそれがあります。

確実に引き出しが固定されているかを確認すること。

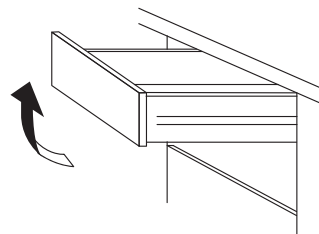
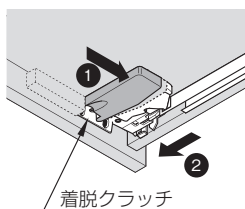
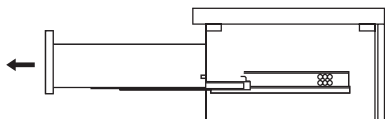
レールから外れて落下するおそれがありますので、必ず開閉を数回（一番手前まで引き出し、最後まで押し込む）実施して、確実に固定されていることを確認してください。

引き出しの取り外しと取り付け

●取り外す場合

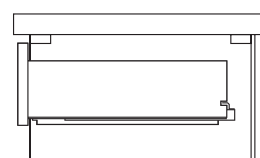
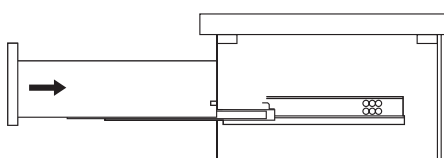
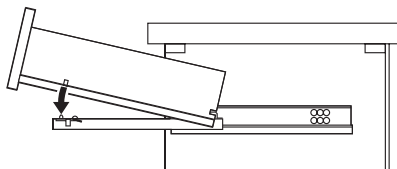
・引き出しを手前に出す。

・引き出し裏の手前左右についている『着脱クラッチ(オレンジ色)』を同時に押しながら、引き出しを引っ張りだす。



●取り付ける場合

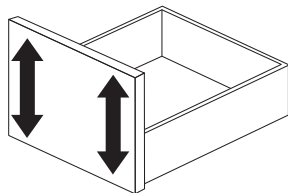
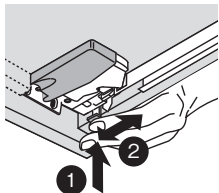
・レールの上に引き出しを乗せてから、引き出しを閉めるとレールに固定されます。
レールに引き出しが傾きなく納まっていることを確認してください。



引き出し扉の調整

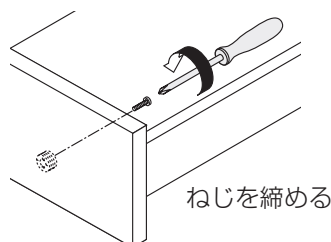
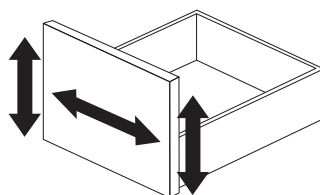
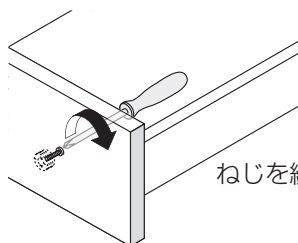
●扉の高さ調整

・左右それぞれにあります。



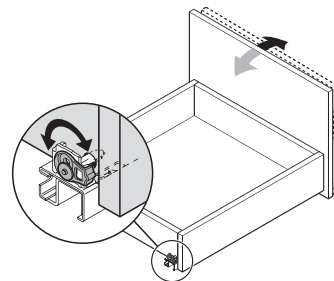
●扉の調整

・左右それぞれにあります。



●扉の傾き調整

・引き出しを外してから、キャビネット側のレールの奥にあるつまみで調整してください。



フラップアップ扉・フラップダウン扉について

⚠ 注意



扉開閉時に無理な力を加えない。
扉や金具の破損の原因となります。

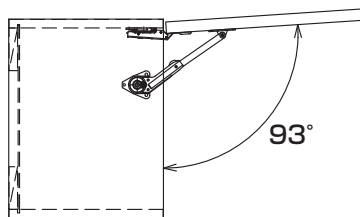
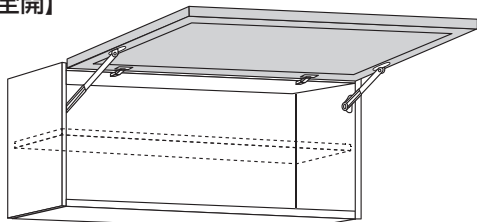


扉を開くとき、開き角度以上に開けないでください。
扉開閉時に扉や金具の間に指などを入れない。
けがをするおそれがあります。

フラップアップ扉

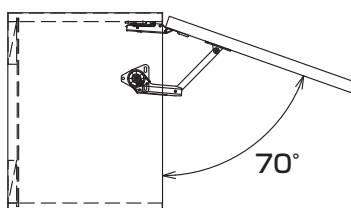
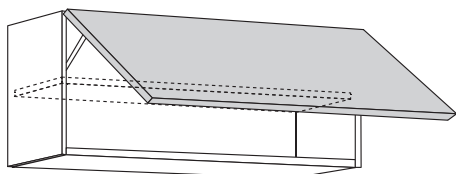
特徴：上開き扉は2段階で開いた状態を保持します。また、扉が閉まる際はゆっくりと静かに閉まります。
扉の閉じ速度を調整できます。

【全開】



※天井直付けで使用すると、扉が
全開に開くことはできません。

【半開】

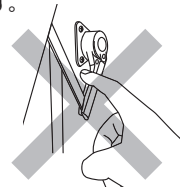


⚠ 注意



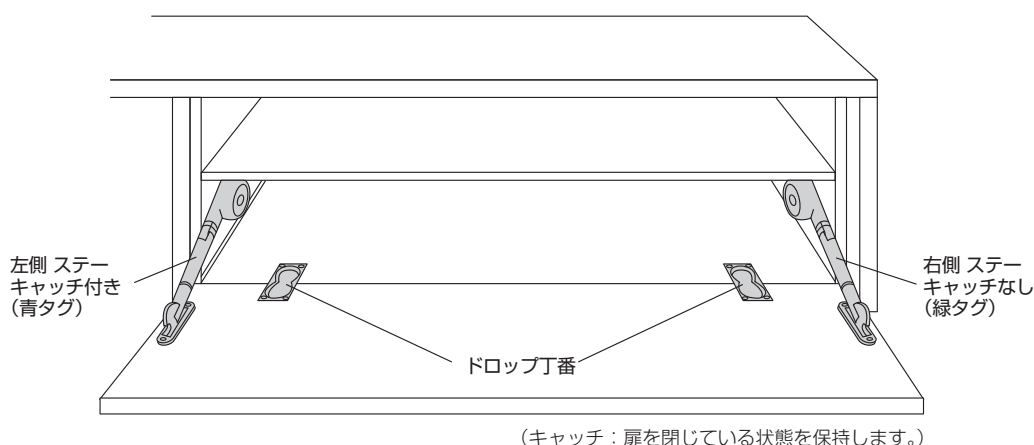
ステーや扉の隙間には、
絶対に手や指を入れない
でください。

手や指を挟んでけがをするお
それがあります。



フラップダウン扉

特徴：扉の開閉はステーにより負荷を軽減し、衝撃を少なくしております。また、丁番は埋め込み式のヒンジ(ドロップ丁番)を使用していますので、物の出し入れの際に引っかかりにくくスムーズに収納できます。



取工場出荷時は左側に『キャッチ付きステー(青タグ)』、右側に『キャッチなしステー(緑タグ)』になっていますので、その状態にてご使用ください。

ステーの形状が同じのため、ステーの左右を取り換えて取付することはできますが、メンテナンスの際に『キャッチなし』『キャッチ付き』が分からなくなるため、ステーの左右を取り換えることは控えてください。

フラップアップ扉の取り外しと取り付け・調整方法

⚠ 警告



取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。
使用中に落下してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

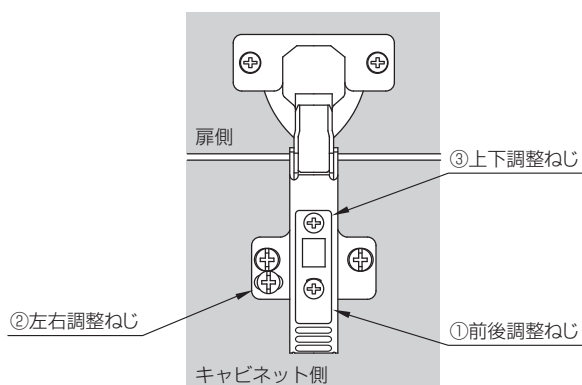


調整はハンドドライバーを使用してください。
電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

丁番の取り外しと取り付け

●P12を参照してください。

丁番での扉の調整



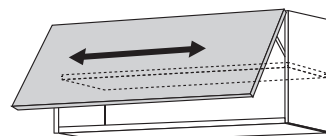
扉の前後調整

①をまわして
前後調整をします。



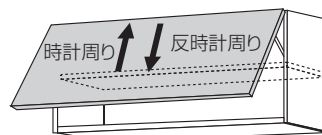
扉の左右調整

②をゆるめて扉ごと左右調整をしたあと
締めなおします。



扉の上下調整

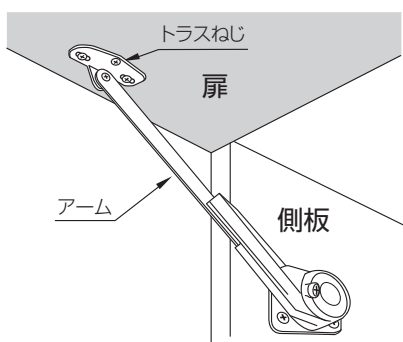
①の固定ねじを締めたまま、
③をまわして上下調整をします。



ステーの取り外しと取り付け

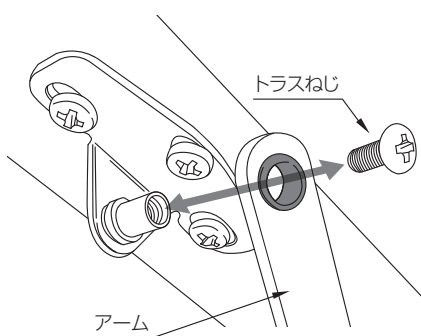
●取り外す場合

・ねじを外すと、アームを外すことができます。



●取り付ける場合

・アームを軸に入れて、ねじを付けます。



⚠ 注意

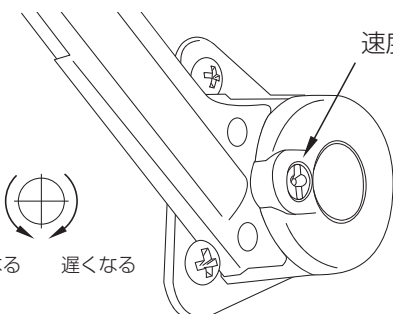
パッキンが外れた場合は、しっかりと取り付けてください。



扉の閉じ速度の調整方法

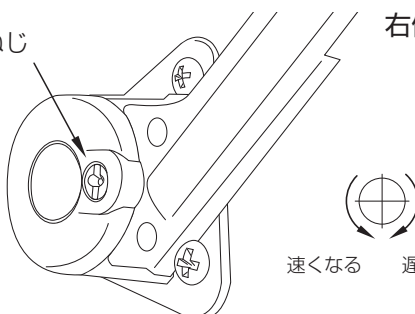
ステーの速度調整ねじをプラスドライバーでまわして、扉の閉じ速度を調整します。

左側ステー



速度調整ねじ

右側ステー



⚠ 注意

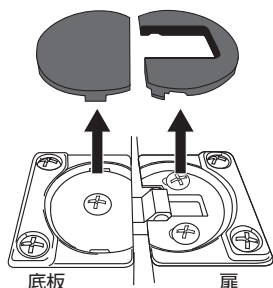
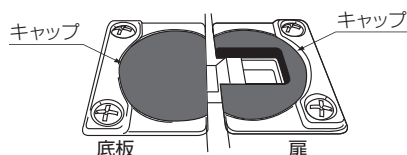
速度調整ねじは、限界以上に回さないでください。

フラップダウン扉の取り外しと取り付け・調整方法

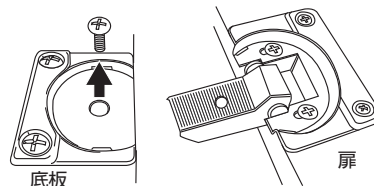
フラップダウン扉の取り外しと取り付け

●取り外す場合

- ・ マイナスドライバーなどで、ドロップ丁番のキャップを外します。



- ・ 底板側のねじを外すと、扉が抜けます。



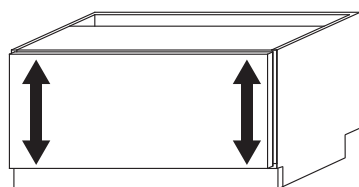
●取り付ける場合

- ・ 取り外し方の逆順番。

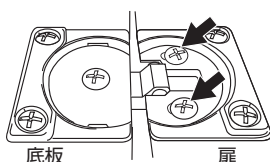
ドロップ丁番での扉の調整

●扉の高さ調整

- ・ 左右にそれぞれあります。

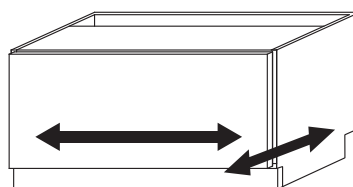


- ・ キャップを外して、下記ねじ2箇所を緩めて、調整し締めなおします。

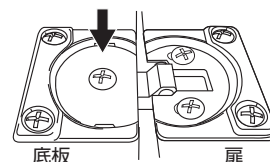


●扉の前後と左右調整

- ・ 左右それぞれにあります。



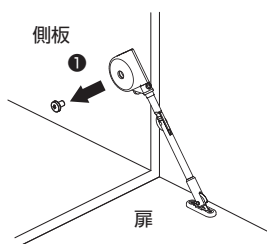
- ・ キャップを外して、下記ねじ1箇所を緩めて、調整し締めなおします。



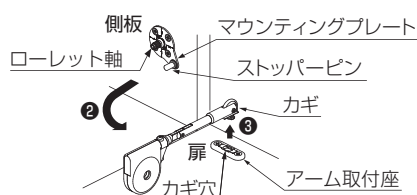
ステーの取り外しと取り付け

●取り外す場合

- ・ ステー本体のねじをはずしてください。



- ・ ステー本体を90° 回転するとアーム取付座からアームが外れます。



●取り付ける場合

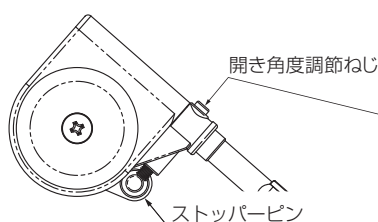
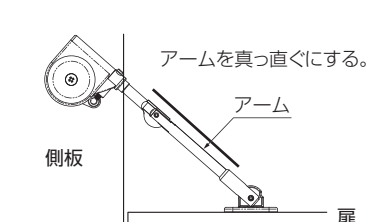
- ・ 取り外す場合と逆の手順で取り付けてください。

⚠ 注意

アーム取付座のパッキンが外れる場合がありますので、外れた場合は取り付けてください。

ステーでの扉の調整

扉を最大に開いた時にステーのアームが『く』の字に曲がらないように【開き角度調節ねじ】をストッパーピンに当て、アームが真っ直ぐになるように調節してください。



⚠ 注意

アームをくの字の状態で使用しますと、扉を保持できず閉まる可能性があります。

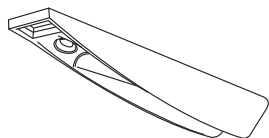
ストッパーピンにねじが当たっていない状態で使用しますと、ステー本体に負荷がかかり、破損の原因となる可能性があります。

プッシュラッチについて

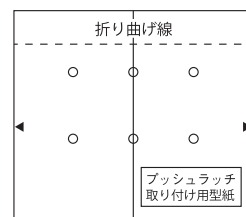
プッシュラッチの同梱品

商品名 ●プッシュラッチ取付座 ●プッシュラッチ本体 ●ビス ●取り付け型紙

形状

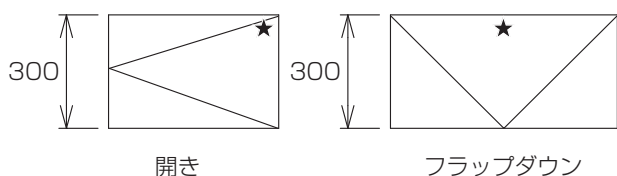


2本
(皿 3.1×16)

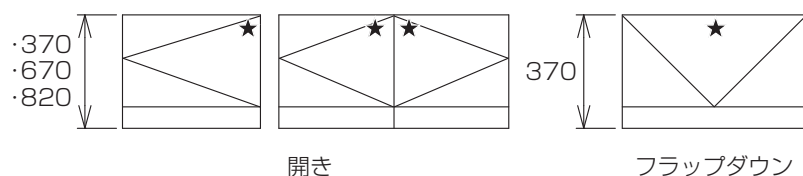


対応キャビネットとプッシュラッチ推奨位置

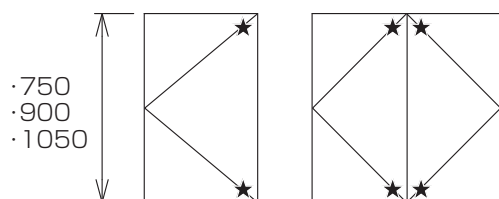
●フロートキャビネット



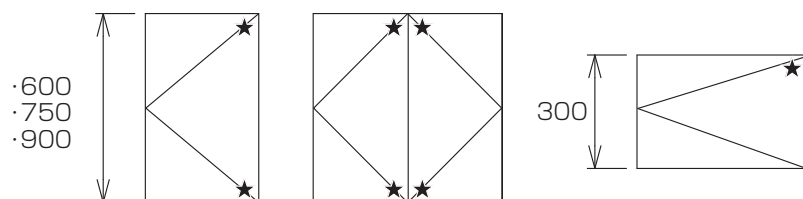
●ベースキャビネット



●ミドルキャビネット



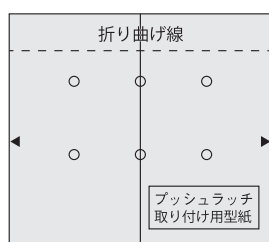
●アッパーキャビネット



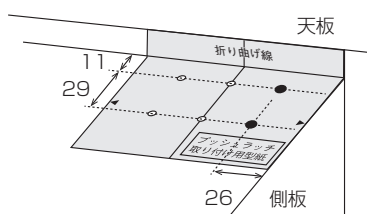
プランによって使いやすい位置に取り付けてください。 ※フラップアップには対応できません。

取り付け位置と型紙の使い方

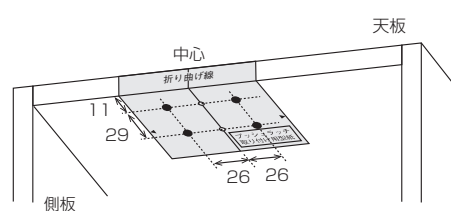
●型紙



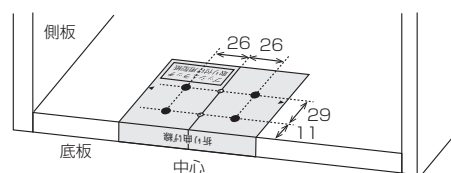
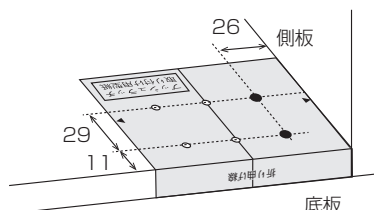
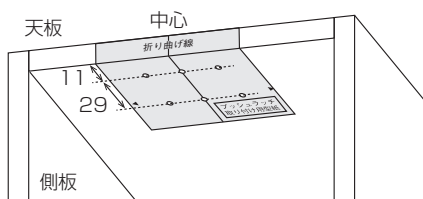
●片扉の場合
※左開きを示す



●両扉の場合



●フラップダウンの場合

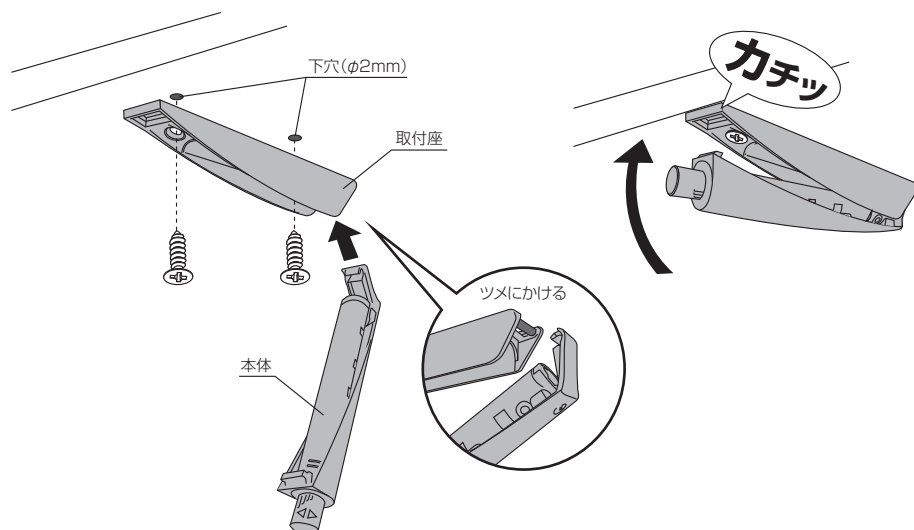


図の位置に、約φ2mmの下穴を2ヶ所あけてください。

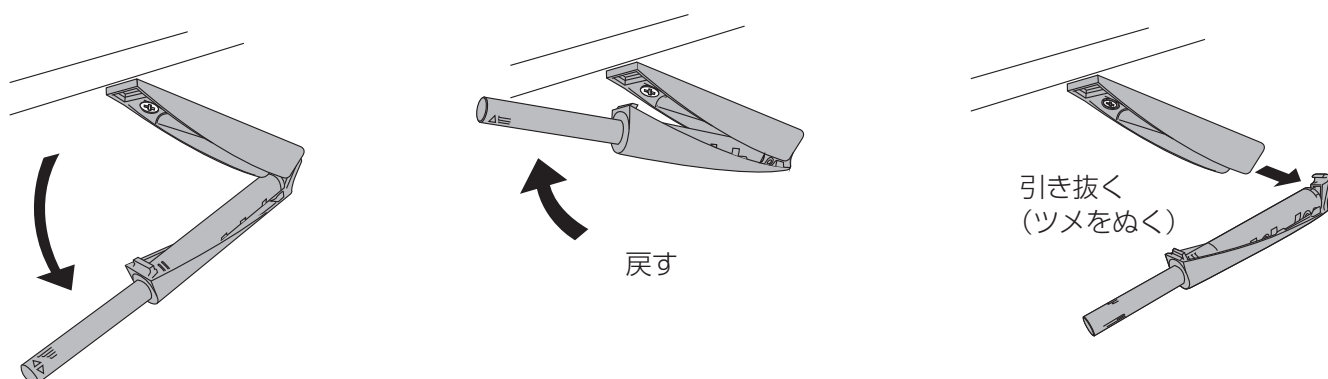
プッシュラッチについて

プッシュラッチの取り付け

- 下穴をあけて取付座のビス固定と本体を取付座に引っ掛けてからはめ込んでください。

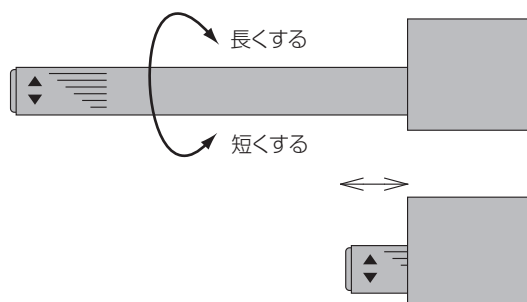


プッシュラッチの取り外し方



プッシュラッチの調整方法

- プッシュ開閉できるように調整してください。
伸ばしている状態では長さは変わりません。
縮めている状態での長さが変わります。



⚠ 注意

プッシュラッチ本体を持って調整しないでください。
破損の恐れがあります。



調整の際は、取付座に必ず固定して調整してください。

使用上のご注意

⚠ 使用上のご注意（必ずお守りください）



禁 止

カウンターの上に乗らないでください。

破損したり、転倒してけがをするおそれがあります。

熱源を近づけないでください。

ストーブやヒーターなどの暖房機器、熱価の高い電灯などを製品に近づけすぎますと、変形・変色・火災発生のおそれがあり危険です。

扉や取手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎないでください。

扉や取手ははずれて、怪我をするおそれがあります。

引き出しの上には絶対乗らないでください。

引き出しが外れて、けがをするおそれがあります。

丁番やステー、扉などの隙間には、絶対に手や指を入れないでください。

手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

物がはさまったまま、無理に扉を閉めないでください。

丁番などが破損する原因となります。
(吊戸の場合、扉が落下する原因になります。)

キャビネット内に不安定なものを置いたり、つめこまないでください。

扉を開けたとき、あるいは地震等の振動で落下し、けがをするおそれがあります。

**本商品に収納できる家電製品には制限があります。
電気コンロ・電熱器・ガスコンロ・ガス炊飯器など、
熱源の露出した器具・電気フライヤーなどを使用しないでください。**

本商品は可燃物です。不燃材・難燃材・防熱板・遮熱板仕様ではありません。
収納する家電機器については各商品の使用説明書にある設置基準をお守りください。

**機器の製造元がユニット内設置を推奨しない物は
収納しないでください。**

**シンナー・ベンジンおよび
薬品類などは使用しないで
ください。**

変色・変質する原因になります。



注 意

**カウンターやキャビネットの角部に衝突など
しないように注意してください。**

小さなお子様の場合頭をぶつけてけがをするおそれがあります。

カウンター面に熱い物を置かないでください。

変形・変色の原因となります。

固い物でカウンター面をこすらないでください。

傷がつく原因となります。

各キャビネットの収納の重量規定を守ってください。

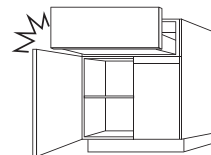
落下・破損により、けがの原因となります。

**ガラス扉やパネルに硬い物をぶつけたり、無理な力を
加えないでください。**

破損して、けがをするおそれがあります。

**上下の扉や引き出しを
同時に開けないでください。**

扉と引き出しを同時にあけると扉が干渉し、
キズがつく場合があります。



汚れたまま、ぬれたままにしないでください。

油・調味料など食品の汚れは、サビや腐食、カビの原因となります。また、木部が水を含み傷んだり、レールや丁番が錆びるおそれがありますので、しっかりと拭き取ってください。

シールやテープ類を貼らないでください。

粘着材で表面が傷むおそれがあります。また、はがした後、汚れが残るおそれがありますので貼らないでください。

**家庭用ゲーム機、AV機器、家電製品など、発熱量の
大きい製品を設置する場合は、側板・壁面との間にす
き間をあげてください。**

家電製品・調理器具の取扱説明書に記載の設置寸法をお守りの上、ご使用ください。

引き出し箱は木製のため、木特有のにおいがします。



分解禁止

分解、修理、改造はしないでください。

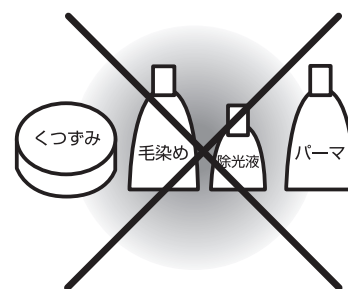
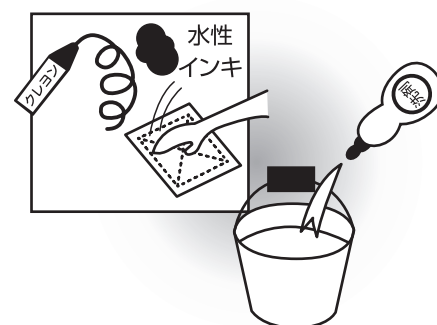
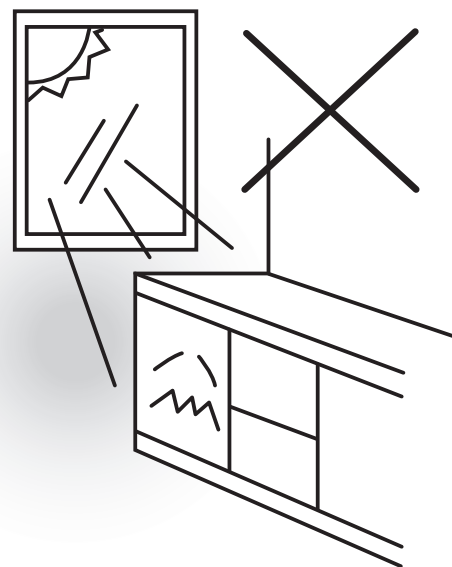
感電や、故障の原因、強度の不足による落下、転倒してけがをするおそれがあります。

ご使用方法について

- 木製(無垢)は直射日光が当たると日焼けして色が変わります。また日光の当たらない箇所との色差が生じます。日差しの強いところではカーテンやブラインドなどで、直射日光が当たらないようにご注意ください。また、水滴が付いた場合は柔らかい布で拭き取ってください。繰り返し放置すると、膨らみや反りの原因になります。

お手入れ方法について

- ほこりや小さな汚れは、きれいな柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
- コーヒー、しょう油、カレー粉、油、ヨウ素を含むうがい薬、漂白剤などが付着した場合はすぐに拭き取った後、中性洗剤を薄めたものに柔らかい布を浸して固く絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で仕上げ拭きをしてください。そのまま放置するとシミになって取れなくなるおそれがあります。
- クレヨン、水性インキなどが付着した場合は、中性洗剤を薄めたものに柔らかい布を浸して固く絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で仕上げ拭きをしてください。落ちにくい汚れの場合は、アルコールを含ませた布で軽くふきとってください。
- シンナー・ベンジン等の溶剤や研磨剤、アルカリ性※酸性の洗剤等は使用しないでください。※弱アルカリ性は除く
- 靴墨や毛染め剤、除光液、化粧品、薬品などが付着しないよう注意してください。拭き取ってもシミが残ったり、塗装面が変化する事が有ります。
- 硬いものや尖ったものが落下すると塗膜が割れることがあります。塗膜がキズついたら、市販塗料で補修してください。



使用上の注意

常時水がかかる部分や、水がかかったまま長時間放置すると、塗膜が変化することがありますので、こまめに拭き取ってください。

また、汚れを長時間放置すると取れにくくなりますので、こまめに拭き取る事をお勧めします。

木製(無垢)部は一枚一枚木目や色調が異なりますので、多少の色のばらつきが生じることがあります。また、お使いいただいている間に日光などの紫外線によって徐々に色が変わることがあります。このような無垢扉特有の性質を、ご理解くださいますようお願いいたします。

- キャビネットは木製のため水洗いをすると傷みの原因になります。部分的な汚れは中性洗剤をつけて拭きとってください。ただし水分の残るような拭き方は避けてください。
- 扉に無理な力加わらないよう、力が加わる反対面に片手を添えてお手入れしてください。特に、ガラス扉のお手入れは、十分注意してください。
- 取手がガタついたときは、扉裏の取手ビスを締め直してください。
- 取手は手垢その他の汚れが付きやすいので、時々中性洗剤で軽く拭きとってください。
- 扉の丁番は時々ホコリや汚れを取ってミシン油を差してください。開閉がなめらかな状態で使用していただけます。

シート扉

扉表面の特殊樹脂シートは耐汚染性能に優れていますが、水に濡れたまま長期間放置すると、木口部分の隙間から扉に水がしみこんで膨らみの原因となりますので、必ず水を拭き取ってください。
また、汚れを長期間放置すると汚れが取れにくくなりますので、こまめに拭き取ることをおすすめします。

「こだわり取手セレクション」の保証期間は弊社納品発行日から1年です。

保証期間内に「取手としての機能を果たさない」「意匠性を著しく損なう」等の不具合が発生した場合には良品との交換を責任の範囲とさせていただきます。

- 乾いた柔らかい布または水に濡らして硬く絞った布で定期的に拭いてください。汚れが付着した場合は、台所用中性洗剤で拭き取ってください。
- 安全にお使いいただくために、定期的なねじの締め直しを行ってください。
- 強い洗剤や酸性およびアルカリ性の液体、塩分が付着すると、変色や錆の原因となります。これらが付着した場合、速やかに拭き取ってください。
- 破損の原因となるため、ひねったり衝撃を与えないでください。
- 手加工、手仕上げが含まれるため、色・寸法・形状・模様により多少のばらつきが生じます。また、表面の色ムラ・細かなキズ・気泡等が含まれる場合がございます。
- 真鍮製品についての注意事項
 - ・真鍮製品は、金属磨き剤(「ピカール」等)で磨くと汚れや変色が取れることがあります。但し、ご使用に際しては磨き剤に書かれている使用上の注意事項をよく読んでお使いください。
 - ・はじめは黄金色ですが、酸素に触れると表面は酸化し、黒っぽく変化します。また、人の手のひらの油分で色合いが変化し、艶がでてきます。
 - ・真鍮部分から緑色のさびが発生することがありますが、これは真鍮に含まれる銅のさびで緑青(ろくしょう)です。有害性はなく衛生的に心配ないと言われています。
- 真鍮 × 陶磁器つまみについての注意事項
 - ・陶の素地と釉(うわぐすり)の膨張率・収縮率の違いなどによって、表面の釉に網目のように広がるヒビ(貫入)が入ることがあります。また、陶磁器を焼き上げるときに、空気中に含まれる鉄分が反応した部分が黒い点(斑点)となってあらわれることがあります。貫入や斑点が起点となって割れることはなく、いずれも不良ではありません。

収納量の目安（重量規定）

耐荷重表



注意

◆耐荷重を守ってください。
◆割れやすい物や鋭利な物を不安定な状態に置かないでください。
落下・転倒破損によりけがの原因となります。

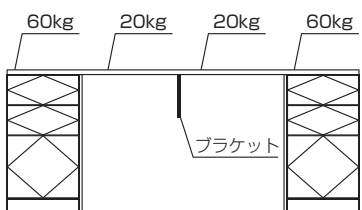
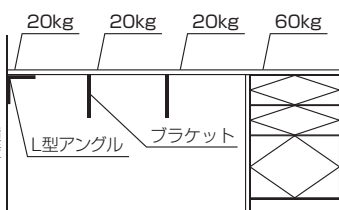
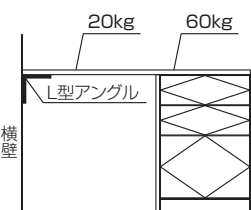
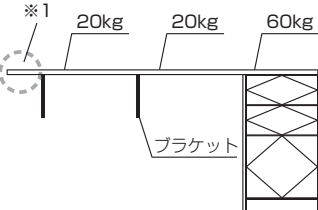


使用上の注意

◆収納物は分散して収納してください。
重い物を底板や棚板の中央に置くと反りの原因になります。
引き出しの場合は、手前側に片寄って置くと閉まりにくくなるおそれがあります。

アッパーキャビネット 開き扉 耐荷重： 棚板 10kg 底板 10kg	ミドルキャビネット 開き扉 耐荷重： 棚板 10kg 底板 10kg	アッパーキャビネット フラップアップ扉 耐荷重： 底板 10kg	
薄引き出し 耐荷重：1kg	ベースキャビネット 開き扉 耐荷重： 棚板 10kg 底板 10kg	ベースキャビネット フラップダウン扉 耐荷重：棚板 10kg 底板 10kg	
ベースキャビネット 1段引き出し扉 耐荷重： 下段 15kg	ベースキャビネット 1段引き出し +開き扉 耐荷重： 上段 15kg 棚板 10kg 底板 10kg	ベースキャビネット 3段引き出し扉 耐荷重： 上段 15kg 中段 15kg 下段 15kg	ベースキャビネット 4段引き出し扉 耐荷重： 上段 15kg 中段 15kg 下段 15kg

【カウンター耐荷重】 荷重はできるだけ分散させ、重量物は板を敷くなど一ヶ所に集中させないようにしてください。



※1 カウンター端部に集中して荷重を加えないでください。
カウンターが変形、破損するおそれがあります。

無垢材: 60kg
突板材・シート材: 40kg

1キャビネットあたり60kg
キャビネット同士の境目100kg

■フロートタイプ
1キャビネットあたり30kg
(キャビネット内収納重量を含めて)

1段引き出し
耐荷重：10kg

開き扉
フラップダウン扉
耐荷重：
棚板 10kg
底板 10kg

※最大スペースは900ミリ未満
それ以上は変形のおそれがあります。

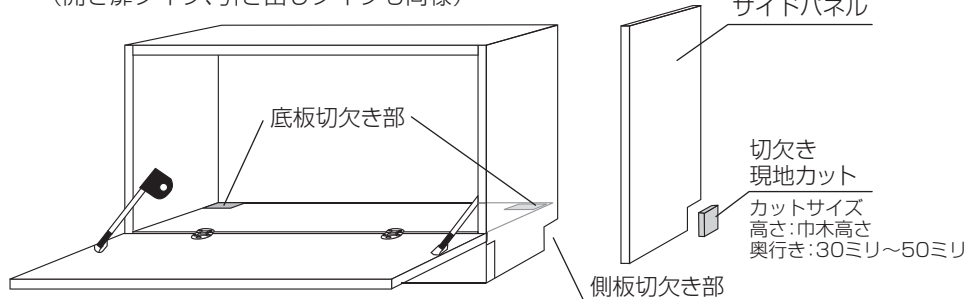
荷重はできるだけ分散させ、重量物は板を敷くなど一ヶ所に集中させないようにしてください。

配線について(リビングTV台プラン)

配線を通すには

- リビングTV台プランのキャビネットには配線を通し易いように、各パーツに切欠き部があります。

(例)ベースキャビネット フラップダウン扉タイプ
(開き扉タイプ、引き出しタイプも同様)

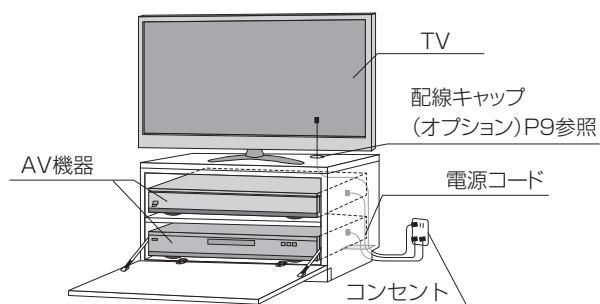


※サイドパネルには切欠きをしておりません。

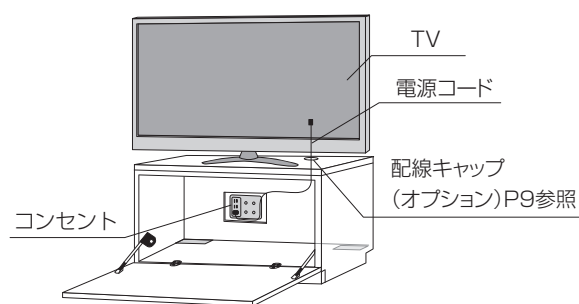
⚠ 注意

サイドパネルの外側から配線を通す場合(キャビネットの横にコンセントがある場合)は、サイドパネルに配線を通せるように切欠き(現地カット)をしてください。

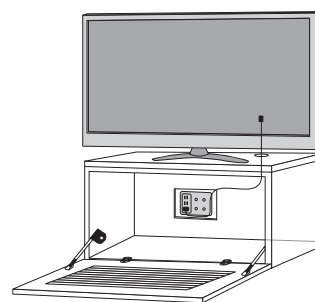
- キャビネットの横にコンセントがある場合
キャビネットの切欠き部から配線することができます。
※サイドパネルの切欠きは現地カットです。



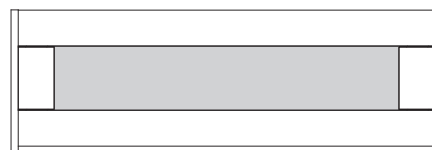
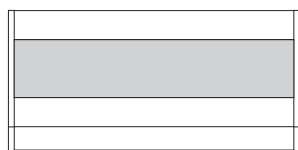
- キャビネットの裏にコンセントがある場合
キャビネットの裏板(MDF2.5t)をコンセント位置で切欠いて(現地カット)してください。
※サイドパネルの切欠きは不要です。



【フロートタイプ】



キャビネット裏面



網掛け部分が裏板(MDF t2.5)なので現地カットできます。裏板のサイズはキャビネット仕様により異なります。

※カウンター上部のテレビ等の配線を通す場合にはオプションの「配線キャップ」をご使用ください。

詳しくは P9 の「カウンターの取り付け」をご参照ください。

※上記のイラストはサイドパネルが付いていない状態です。

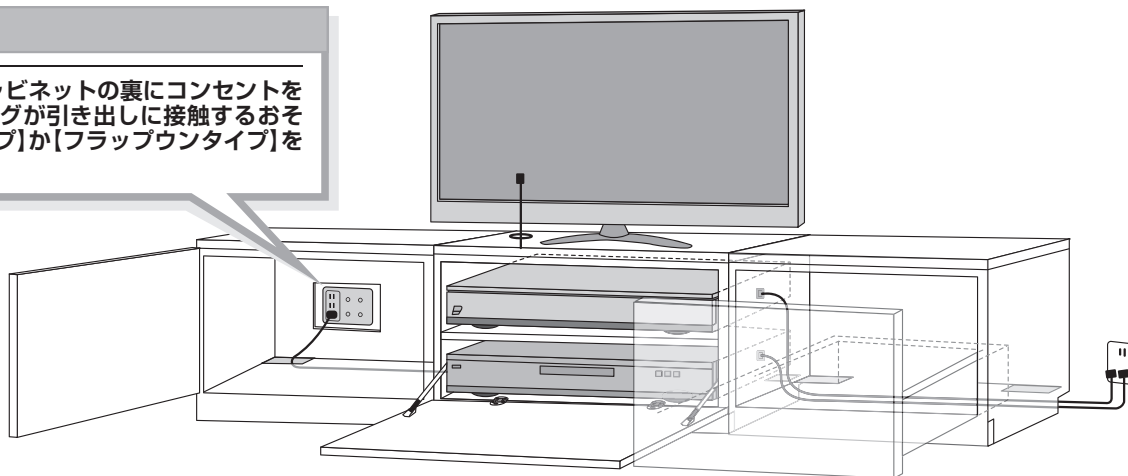
配線について(リビングTV台プラン)

配線を通すには

- キャビネットを連結する場合も、自由に配線していただけます。

⚠ 注意

【引き出しタイプ】のキャビネットの裏にコンセントを設定すると、機器のプラグが引き出しに接触するおそれがあるので【開きタイプ】か【フラップウンタイプ】を設置してください。

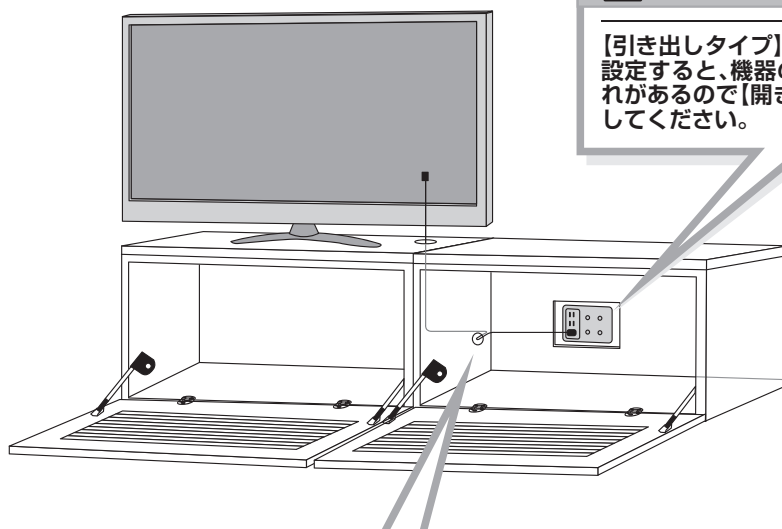


※上記のイラストはサイドパネルが付いていない状態です。

【フロートタイプ】

⚠ 注意

【引き出しタイプ】のキャビネットの裏にコンセントを設定すると、機器のプラグが引き出しに接触するおそれがあるので【開きタイプ】か【フロートタイプ】を設置してください。



⚠ 注意

側板に穴あけする場合は、棚板や、引出レール、金具などに支障がない場所にしてください。

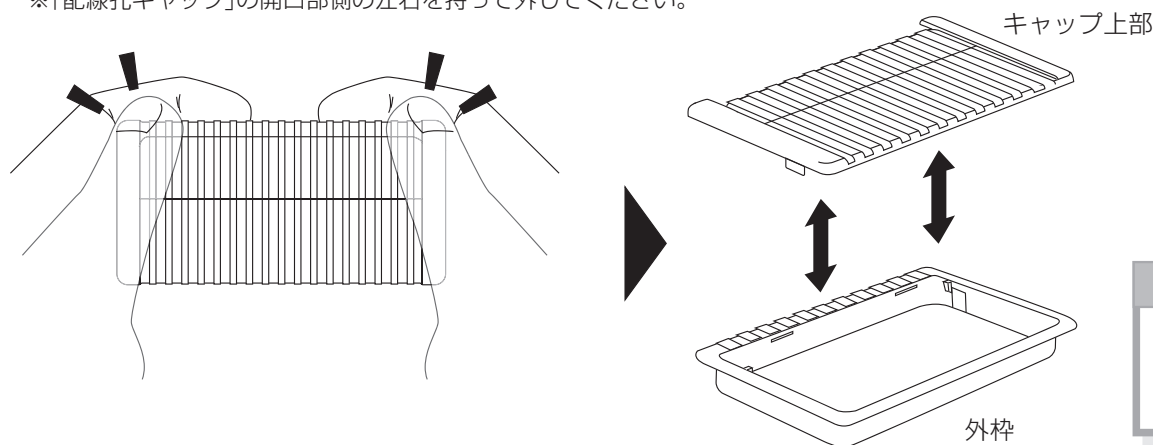
配線について(リビングTV台プラン)

配線孔キャップ

●キャビネット底板の切欠き部へは、同梱の「配線孔キャップ」を取り付けてください。

●キャビネット底板の切欠き部へ取り付ける前に、「配線孔キャップ」を「キャップ上部」と「外枠」に外してください。

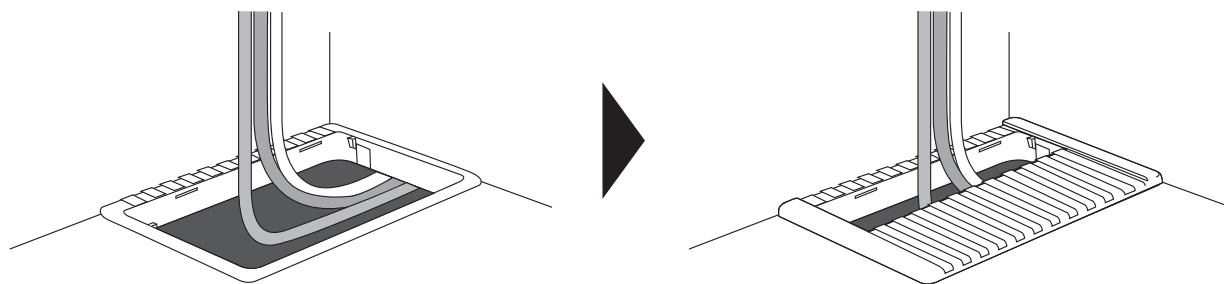
※「配線孔キャップ」の開口部側の左右を持って外してください。



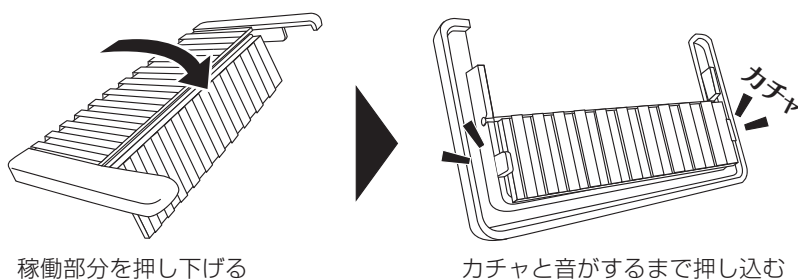
⚠ 注意

無理な力を
加えないでください。
破損するおそれがあります。

●配線時には取り外した「外枠」のみ取り付け、配線後は「上部キャップ」を半分にたたんで取り付けてください。



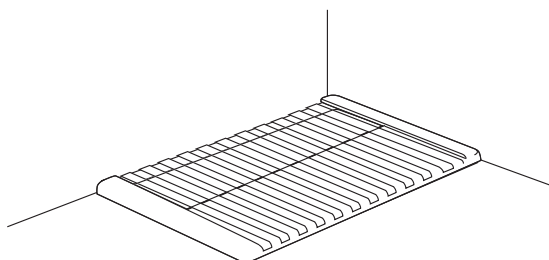
●「上部キャップ」を
半分にたたむ。



⚠ 注意

無理な力を
加えないでください。
破損するおそれがあります。

●配線を通さない場合は上部キャップを閉めた状態で取り付けてください。



[illegible]

アフターサービス・品質保証

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中、商品に不具合が発生した場合には、お買い求めいただいた販売店・工事店もしくは最寄りの
弊社支店・営業所にご連絡下さい。保証期間経過後や下記の免責事項に該当する場合は有料修理となります。

品 番			
※ お 客 様	ご住所		
	お名前	様	TEL
※ 販 売 店	住 所		
	店 名	TEL	印

※印欄は必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入のない場合には直接お買上の販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お引渡し日(注1・注2)を起点として、2年間(一部商品は1年間) (対象商品と保証期間一覧表参照)

注1)改修工事の場合・・・工事完了日

注2)分譲住宅の場合・・・建築主様への引渡し日

お引渡し日

■保証内容

使用説明書・施工説明書・本体添付ラベル等の注意書きに沿った施工・使用状態で、保証期間内に生じた、
弊社の責任に起因する商品の不具合は、無料修理させていただきます。(下記の免責事項に該当するものを除く)

■免責事項 《保証期間内であっても、次のような場合には有料(商品・部品代+技術料+出張料)となります。》

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 用途外に使用された場合の不具合(例えば、内装ドアを屋外との仕切りに使用された場合)
- 4) 仕上げ面のキズなどの不具合で、引渡し時に申し入れがなかったもの
- 5) 商品発売時、実用化された技術では予防する事が不可能であった現象に起因する不具合
- 6) 引渡し後の使用上の誤り、調整不備又は不適切なメンテナンスによる不具合
- 7) 使用説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗や摩耗による不具合
- 8) 消耗性部品の取替えや修理に起因した不具合
- 9) 重量物(ピアノ・本棚・運搬用台車等)の影響による割れや凹みなどの不具合
- 10) 冷暖房に起因する室内の乾燥による隙間・反り・キシミ音などの不具合
- 11) 保証期間経過後の申し入れ、または不具合発生後速やかに申し入れがなかったもの
- 12) 火災・地震・水害・落雷などの天災地変、公害・塩害・ガス害による不具合
- 13) 建築躯体の変形など商品以外の不具合で生じた故障及び損傷
- 14) 犯罪など不法な行為に起因する不具合
- 15) 環境が悪い場所で(例えば、部屋内外の温度が極端に違う部位で、又極端に乾湿を繰り返す場所など)使用されたことに起因する不具合
- 16) 犬・猫・鳥・鼠など小動物の害による不具合、納入後一年以上経過したキクイムシなどによる虫害
- 17) 経時変化による変退色、汚れ、劣化、摩耗など
- 18) その他、上記免責事項に準ずるとみなされるもの、並びに上記免責事項以外で商品に起因する品質不良でないもの

商品分類	保証事項	保証箇所	対象不具合現象	期間
無垢の木の収納	使用上著しい支障が生じない事	扉・ボックス・ガラス・鏡	本体及びボックスの変形や変質により機能が損なわれる等(反り・剥れ・割れ)	2年間
	使用上の支障や外観上著しい変質が生じないこと	金具類	部品の破損・変形・作動不良や錆変色などにより機能が損なわれる等	2年間

修 理 内 容	年 月 日	修 理 内 容	担 当 者

株式会社 **ウッドワン** お客様商品相談窓口  **0120-813-331**

〔受付時間〕 平日：8:30～17:00 〔休日〕 土日・祝日・GW・年末年始・夏季休業

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ウッドワンは、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。